



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ  
 コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 竹田 光広

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長 (氏名) 中澤 健夫

TEL 03-5785-6325

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	115,175	7.0	9,790	20.7	9,941	20.3	5,747	11.1
29年3月期第3四半期	107,604	2.7	8,108	17.3	8,264	16.0	5,175	15.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 5,858百万円 (9.9%) 29年3月期第3四半期 5,329百万円 (11.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	202.74	
29年3月期第3四半期	172.02	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	76,560	35,499	44.7	1,205.75
29年3月期	67,799	30,980	45.2	1,081.49

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 34,203百万円 29年3月期 30,630百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		20.00		58.00	78.00
30年3月期		20.00			
30年3月期(予想)				58.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,859	5.7	9,953	8.6	10,100	7.2	5,496	5.9	194.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	30,213,676 株	29年3月期	30,213,676 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,846,972 株	29年3月期	1,890,835 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	28,347,405 株	29年3月期3Q	30,085,166 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 【第3四半期連結累計期間】	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策によって企業収益と雇用環境に穏やかな改善が見られるものの、金融資本市場の変動や海外経済の不確実性などにより、先行きの不透明感が続いています。衣料品小売業界においても訪日外国人による免税需要の回復や株高に伴う富裕層による購買の活発化、ネット通販売上の拡大などが見られる一方、賃金や可処分所得の伸びは鈍く、お客様の節約志向の高まりや慎重な購買行動が継続しています。

このような状況の下、当社は平成30年3月期の単年度経営方針として「収益性の早期改善」を掲げ、この達成に向け「売上総利益率の改善」、「在庫効率の改善」、「販管費率の改善」、「ネット通販売上の拡大による収益性の改善」の4つの重点取組課題を定めております。

「売上総利益率の改善」については、当社の商品戦略の柱である基本商品政策の社内浸透を進め、価格と価値のバランスを十分に見極めた価格設定を行なうことで、定価販売比率を高めます。加えて気温変動の影響を受けづらいビジネス需要や式典需要などへの対応を強化して売上の安定化を図り、売上総利益率の改善につなげます。当第3四半期累計期間は、これらの取組みを進めたほか、連結子会社における値引販売の縮小等に伴い、売上総利益率は前年同期を0.1ポイント上回りました。

「在庫効率の改善」については、商品の品番数を削減し、商品一点一点の完成度を高めています。加えてシーズン当初の在庫投入量を抑制しつつ、売上動向を見ながらシーズン途中での売れ筋商品の追加生産を実施することで、在庫効率の改善を進めています。当第3四半期累計期間末のたな卸資産の前年同期末比は4.5%減となり、期間の売上高伸長率(7.0%増)を大きく下回りました。

「販管費率の改善」については、プロジェクトチームを結成して社内業務のたな卸しを実施しています。効率の悪い業務や不要なコストを抜本的に見直し、販管費率の改善につなげます。当第3四半期累計期間の販管費率は、増収に伴う相対的な人件費率の低減やたな卸資産の効率化に伴う関連コストの低減、その他固定費率の低減等により、前年同期を0.9ポイント下回る44.2%となりました。

「ネット通販売上の拡大による収益性の改善」については、昨年4月に各ブランドサイトとユニテッドアローズオンラインストアの統合リニューアルを実施しました。オンライン裾上げサービスなど各種サービスも拡充し、実店舗とオンラインストアのどちらでも安心してお買い求めいただける環境を整えています。同時にネット通販店舗への在庫供給を増やして販売機会ロスを極小化し、実店舗とオンラインストアの双方の売上につながる販促活動を行った結果、当第3四半期累計期間の単体ネット通販売上高は前年同期比20.8%増と大きく伸長しました。

出退店では、ユニテッドアローズ事業：7店舗の出店、3店舗の退店、グリーンレーベルリラクシング事業：3店舗の出店、スモールビジネスユニット：3店舗の出店、4店舗の退店、アウトレット：2店舗の出店を実施した結果、当第3四半期累計期間末の小売店舗数は224店舗、アウトレットを含む総店舗数は250店舗となりました。

続いて、主な連結子会社の状況として、株式会社フィーゴは、フェリージブランドにおいて一部のビジネス需要やギフト需要が目論見を下回り、減収減益となりましたが、連結業績に与える影響は軽微となっております。出退店では1店舗の出店を実施し、当第3四半期累計期間末の店舗数は18店舗となりました。

連結子会社の株式会社コーエン(決算月：1月)は、実店舗・ネット通販双方とも好調に推移し、増収増益となりました。なお出退店では1店舗の出店、3店舗の退店を実施し、当第3四半期累計期間末の店舗数は85店舗となりました。

連結子会社のCHROME HEARTS JP 合同会社（決算月：12月）については、ビジネスユニット売上が前年同期を上回って推移しました。なお当第3四半期累計期間末の店舗数は10店舗です。

また、連結子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司（決算月：1月）は1店舗の出店を実施し、当第3四半期累計期間末の店舗数は4店舗、連結子会社の株式会社Designs（決算月：1月）の当第3四半期累計期間末の店舗数は1店舗です。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高については、新店出店に伴う増収、既存店の増収、ネット通販の伸長等により、前年同期比7.0%増の115,175百万円となりました。なお、株式会社ユナイテッドアローズにおける小売+ネット通販既存店売上高前期比は104.4%となりました。売上総利益は前年同期比7.2%増の60,652百万円となり、売上総利益率は前年同期から0.1ポイント改善の52.7%となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比4.9%増の50,861百万円となり、販売費及び一般管理費率は前年同期から0.9ポイント低減の44.2%となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は9,790百万円（前年同期比20.7%増）、経常利益は9,941百万円（前年同期比20.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,747百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比較して9,232百万円（20.4%）増加の54,385百万円となりました。これは、現金及び預金が1,261百万円、商品が3,097百万円、未収入金が5,427百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が124百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して470百万円（2.1%）減少の22,175百万円となりました。これは、商標権の取得などにより無形固定資産が303百万円増加した一方、償却などにより建物及び構築物が322百万円、退店などにより差入保証金が569百万円それぞれ減少したことなどによります。

### （負債）

流動負債は、前連結会計年度末と比較して5,518百万円（18.5%）増加の35,324百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が3,384百万円、短期借入金が1,860百万円それぞれ増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が1,503百万円、賞与引当金が797百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して1,275百万円（18.2%）減少の5,737百万円となりました。これは、資産除去債務が224百万円増加した一方、長期借入金が1,500百万円減少したことなどによります。

### （純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して4,518百万円（14.6%）増加の35,499百万円となりました。これは、資本剰余金が非支配株主への持分譲渡により65百万円、自己株式処分差益により11百万円増加したこと、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により5,747百万円増加した一方、配当金の支払により2,210百万円、非支配株主への持分譲渡により212百万円それぞれ減少したこと、自己株式が譲渡制限付株式報酬として処分したことにより139百万円減少したこと、繰延ヘッジ損益が46百万円増加したこと、そして非支配株主持分が946百万円増加したことなどによります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月27日に発表した平成30年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,870	7,132
受取手形及び売掛金	252	128
商品	25,654	28,752
貯蔵品	555	556
未収入金	10,161	15,589
その他	2,663	2,229
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	45,152	54,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,332	8,009
その他（純額）	1,877	1,757
有形固定資産合計	10,209	9,766
無形固定資産		
その他	1,965	2,269
無形固定資産合計	1,965	2,269
投資その他の資産		
差入保証金	8,716	8,147
その他	1,775	2,013
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	10,471	10,139
固定資産合計	22,646	22,175
資産合計	67,799	76,560
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,399	12,784
短期借入金	6,300	8,160
1年内返済予定の長期借入金	3,992	2,489
未払法人税等	1,346	1,399
賞与引当金	1,740	943
役員賞与引当金	9	9
その他	7,017	9,538
流動負債合計	29,805	35,324
固定負債		
長期借入金	3,500	2,000
資産除去債務	3,494	3,719
その他	17	17
固定負債合計	7,012	5,737
負債合計	36,818	41,061

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,128	4,205
利益剰余金	29,515	32,839
自己株式	△6,000	△5,861
株主資本合計	30,673	34,213
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△46	0
為替換算調整勘定	4	△11
その他の包括利益累計額合計	△42	△10
非支配株主持分	349	1,295
純資産合計	30,980	35,499
負債純資産合計	67,799	76,560

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	107,604	115,175
売上原価	51,008	54,523
売上総利益	56,595	60,652
販売費及び一般管理費	48,486	50,861
営業利益	8,108	9,790
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	96	52
仕入割引	45	41
受取賃貸料	15	19
その他	68	116
営業外収益合計	226	229
営業外費用		
支払利息	29	28
賃貸費用	14	19
自己株式取得費用	3	-
その他	22	30
営業外費用合計	70	79
経常利益	8,264	9,941
特別損失		
固定資産除却損	75	121
減損損失	379	847
投資有価証券評価損	0	-
その他	13	10
特別損失合計	468	979
税金等調整前四半期純利益	7,795	8,961
法人税、住民税及び事業税	2,664	2,872
法人税等調整額	△39	261
法人税等合計	2,625	3,134
四半期純利益	5,170	5,826
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	79
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,175	5,747



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	5,170	5,826
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	144	47
為替換算調整勘定	14	△16
その他の包括利益合計	159	31
四半期包括利益	5,329	5,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,334	5,779
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	79

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,795	8,961
減価償却費	1,366	1,341
無形固定資産償却費	162	218
長期前払費用償却額	205	117
減損損失	379	847
賞与引当金の増減額(△は減少)	△699	△797
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△1
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	29	28
売上債権の増減額(△は増加)	△3,140	△4,876
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,721	△3,099
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,999	396
仕入債務の増減額(△は減少)	3,477	4,167
その他の流動負債の増減額(△は減少)	482	2,050
その他の固定負債の増減額(△は減少)	11	-
その他	184	182
小計	1,524	9,537
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△29	△28
法人税等の支払額	△4,021	△2,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,526	6,894
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△9	△9
貸付けによる支出	△18	-
有形固定資産の取得による支出	△2,914	△1,823
資産除去債務の履行による支出	△113	△90
有形固定資産の売却による収入	0	-
無形固定資産の取得による支出	△345	△304
長期前払費用の取得による支出	△540	△395
差入保証金の差入による支出	△544	△164
差入保証金の回収による収入	406	734
その他	-	△242
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,077	△2,296
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,300	1,860
長期借入れによる収入	6,000	-
長期借入金の返済による支出	△1,503	△3,003
自己株式の取得による支出	△3,095	-
配当金の支払額	△2,294	△2,186
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,407	△3,329
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	817	1,252
現金及び現金同等物の期首残高	5,799	5,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,617	6,883

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。